

## Part F: Listening strategies

### F.1. Making a list of strategies

目的:

聞き取りを上達させるために必要なストラテジーを認識し、リストにする。

協力者と教材:

上級のレベルの学生か外国語がきける日本人のゲスト

SILL の日本語版、Study Suggestions for the Adapted ELSIE の日本語版

時間: 30分

手順:

1. 聞き取りが苦手だと思う学生と聞き取りには問題がないという学生にわけ、聞き取りが苦手な学生とそうでない学生で3、4人のグループにする。苦手な方の学生は日本語を聞いている時におこる問題点について話し、苦手でない方の学生はそういう場合にどうするか話す。お互いにメモをとり後で発表。
2. 次に聞き取りを上達させるために何をすればいいか、どんなものを聞けばいいか話し合い、メモをとらせる。
3. ゲストを呼び、グループでゲストにどのようにして聞き取りを上達させたか、又、きけない時はどうするかインタビューをしてメモをとらせる。
4. メモの内容をみんなで交換し、発表する。そしてどのようなやり方がいいかディスカッションをする。
5. SILLの日本語版と Study Suggestions for the Adapted ELSIE の日本語版を見て、たりないものがあるか、あればそれは外国御教育でも利用できるか話し合う。
6. 各自自分のストラテジーリストを作る。

## F.2. Activating schemata and organization

目的:

背景情報を使って効果的に聞き取りをするストラテジーの導入と練習

教材:

学生のレベルよりは少し上の会話のテープ (transcript for sample audio-tape 1 参照)  
 ハンドアウト (reading material for sample 1, comprehension question for sample 1)

時間: 30分

手順:

1. ペアで下記のような場面でどのような表現を使うか簡単にロールプレイをする。  
 例:
  - a. パーティで初めて会った人に自分をしょうかいする時。
  - b. 友だちに自分の友だちをしょうかいする時。
  - c. 知らない人に道で道を聞く時。
  - d. 友だちの家に電話をかけて、友だちを招待する時。
  - e. 友だちのうちに招待されて、玄関の前まで来た時。
  - g. 友だちの家をでる時。
  - h. 道で前にお世話になった先生に会った時。
  - i. デパートで何か見せてほしい時。
  - j. レストランで、注文したい時。
  - k. 病院に行って、受け付けで話をする時。
  - l. となりの人がうるさいので文句を言う時。
  
2. テープを一度だけ聞かせ、内容ついて簡単に話させる。分かったこと分からなかったことをリストにして、何がおこっていると思うか推測し発表させる。
3. 次に、3人1組のグループで話をしている二人の関係と場面について考させる。さらに、いろいろな場面で要求されるていねいさ、単語、表現、文法などについても考えさせる。  
 例:
  - 男の人と女の人の関係 (親しさ、年齢差など)
  - 会話をしている場所
  - その場所でおこりそうな会話のトピック
  - そのトピックについてよく使われる言葉や表現
  
4. 次にハンドアウトの読み物を渡す。ペアで読ませて、会話の内容がどんなものであったか、さらに推測させる。

5. テープをもう一度聞かせ後に、聞きやすくなったかどうか考えさせる。足りなければ、どう言う情報が必要か、考えさせ、もう一度聞かせる。背景情報の重要性を再確認する。
6. 内容質問のハンドアウトを配布し、ペアで答えさせる。必要ならもう一度聞かせる。

**Transcript for sample audio-tape 1**

- 男： あ、もう五時ですね。そろそろ、失礼します。
- 女： あら、まだいいじゃないですか。久しぶりなんだから。
- 男： どうもありがとうございます。でも、
- 女： え。何かほかに用事があるんなら、仕方がないけど。
- 男： いや、そういうわけではないんですけど。明日の朝早いもので。
- 女： そう。じゃあ、晩ごはんだけでも食べてってよ。
- 男： そうですか。すみません。
- ....
- 男： ああ、おいしかったです。ご馳走さまでした。
- 女： いいえ、たいしたものなくて、ごめんなさいね。
- 男： いいえ、本当においしかったです。
- 女： いいえ。
- 男： あのう、お食事のすぐ後で申しわけないんですが、そろそろおいとましないと。
- 女： あ、ほんと。もう九時ね。
- 男： 今日は色々お世話になって、どうも有難うございました。
- 女： いいえ、たいしたおかまいもしなくて。
- 男： いいえ、遅くまでお邪魔してすみませんでした。あの、それじゃあ、失礼します。
- 女： それじゃあ。気をつけてね。あ、お母さんによろしく。
- 男： はい。それでは、またごれんらくします。本当に有り難うございました。

**Handout: Reading material for sample 1**

田中さんは東京にすんでいる大学生です。東京には田中さんのおばさんが住んでいます。その人は、田中さんのお母さんのお姉さんです。田中さんのご両親は大阪に住んでいます。今日はお母さんからおばさんに届けるものが会って、田中さんのおばさんの家に来ています。

田中さんは東京にすんでいる大学生です。東京には田中さんのおばさんが住んでいます。その人は、田中さんのお母さんのお姉さんです。田中さんのご両親は大阪に住んでいます。今日はお母さんからおばさんに届けるものが会って、田中さんのおばさんの家に来ています。

田中さんは東京にすんでいる大学生です。東京には田中さんのおばさんが住んでいます。その人は、田中さんのお母さんのお姉さんです。田中さんのご両親は大阪に住んでいます。今日はお母さんからおばさんに届けるものが会って、田中さんのおばさんの家に来ています。

田中さんは東京にすんでいる大学生です。東京には田中さんのおばさんが住んでいます。その人は、田中さんのお母さんのお姉さんです。田中さんのご両親は大阪に住んでいます。今日はお母さんからおばさんに届けるものが会って、田中さんのおばさんの家に来ています。

**Handout: Comprehension questions for sample 1**

1. この場所で使うあいさつの言葉にはどんな物がありますか。
2. 男の人は帰ろうと思った時、何といましたか。
3. 男の人は女の人に最近会ったと思いますか。どうしてそう思いますか。
4. 男の人はどうして五時ごろに帰らなかったのですか。
5. 男の人はいつ帰りましたか。
6. 男の人が帰る時、女の人にどんなお礼の言葉を言いましたか。
7. 女の方は男の人がお礼を言った時、何と答えましたか。

### F.3. Preplanning, identifying potential problems and solutions

目的:

聞く前に聞くためのどうやって聞くかあらかじめ考えて、問題をどのように解決するか考える。

教材:

聞き取り教材 (多少難しいもの) (sample transcript 参照)

時間: 20分

手順:

1. 聞き取りをする前に知っておいた方がいい背景情報についてグループで復習。
2. 背景情報を得るためにどのような質問すればいいか、グループで考え、質問をさせる。教師は会話の内容に関係しない程度の背景情報 (例: 会話が行われている場所、話者の関係) の質問には答えるが、トピック等内容に関係するものには答えない。  
例:  
この会話にはどんな人が出て来ますか。  
この会話のトピックはなんですか。
3. グループで、テープを聞く前に、背景情報をもとにどんな会話がおこなれそうか、可能なトピックを考えさせる。それぞれのトピックについて、必要な語彙も考えさせる。
4. 聞き取りをしている時にすべてを聞き取ることはできないし、すぐ忘れてしまう可能性があることを確認した上、どうすれば情報を失わないですむか、ディスカッションをする。(一度通して聞く、単語レベルのノートをとる等)
5. 聞き取れないことがおきたらどうするか対策を考えさせる (音をかき、すぐテープをとめるよう言う、手をあげて先生に聞く等)
6. テープを一度聞かせる。この時メモはとらせない。分かったこと分からなかったことを言わせる。メモをとっておけば何ができたか考えさせる。
7. もう一度テープを聞かせる。上手にきけた人とうきけなかった人にどうしてうまくいったかいかなかったかいわせる。メモの取りかたを考える。
8. さらにテープを聞いて、ペアになって内容の要約を言わせて、発表。ハンドアウトの質問に答えさせる。

**Transcript for sample audio-tape 2**

- A: あ、田中さん、何読んでるんですか？
- B: あ、これですか。「みにくい日本人みにくいアメリカ人」っていう本なんですけど。
- A: え、変わった題名ですね。どんな内容なんですか。
- B: う～ん、そうだね。アメリカと日本の比較文化の本なんですけど。例えば、日本人が見てびっくりしたアメリカの文化とか習慣、その反対にアメリカ人から見ておどいた日本人の習慣とかがおもしろおかしく書いてあるんだよ。ほら、絵もおもしろいだろ？
- A: あ、本当。おもしろそうですね。
- B: うん。これから日本に行こうって人にはきっと役にたつんじゃないかなあ。ほら、外国に行った時に、その文化や習慣の違いをしらなくて、腹がたったり、思わぬ行き違いがったりするじゃない。逆にふつうだと思ってたことが相手にとってはびっくりすることだったりして...
- A: そうですよねえ。実は、私、この冬休みに日本に初めて行くんですけど。
- B: え、そうなの。
- A: あのう、もしよかったら、田中さんが読み終わってから、その本貸してもらえませんか。
- B: あ、もちろん。ぼくはもう読み終わったから、いつでもいいよ。ほら。
- A: 本当ですか。ありがとうございます。でも、いつごろまで借りていてもいいですか。実はもうすぐテストとかあって、その後じゃないと、ゆっくり読めないと思うんで...
- B: あ、いつでも読み終わった時でいいよ。全然いそがないから。
- A: そうですか。ありがとうございます。じゃあ、読み終わったら、すぐお返ししますから。
- B: ああ、終わったら教えて。



**Handout: Comprehension question for sample 2**

## 質問

1. ハリスさんは田中さんが読んでいる本について前に聞いたことがあると思いますか。
  
2. この本はどんな人に役に立ちますか。
  
3. どうしてハリスさんは田中さんからその本を借りましたか。
  
4. ハリスさんは本を田中さんから本を借りましたが、今日から本を読み始められるでしょうか。
  
5. 田中さんは本を早く返してほしいと思っていますか。どうしてそう思っていますか。

#### F.4. Attending information selectively

目的:

キーワードや大事な情報だけに注意を向けるストラテジーの導入と練習

教材:

日本のテレビのコマーシャル、絵だけでコマーシャルの内容がすぐ分からないもの

時間: 20分

手順:

1. いろいろなジャンルのものを聞く目的をグループで考えさせる。
  - a. コマーシャル (売っているものについて情報を得る)
  - b. ニュース (いつどこでなにかおきたかについて情報を得る)
  - c. ドラマ、ドキュメント番組 (話を理解して楽しむ)
  - d. 講義 (内容を細かく理解する)
2. ふつうのテレビやビデオや言葉が難しいし、前もってみんなでトピックや言葉や文法について話したりしないので、意味が分からないことがある。そういう時、何に気をつければ、少し分かりやすくなるか、グループになって、ジャンル別に考えさせる。
  - a. コマーシャル (大きい映像、初めか終わりに出てくる映像、くり返される表現等)
  - b. ニュース (見出し、後ろに出てくる写真、画面の下の説明、単語等)
  - c. ドラマ (登場人物の年令、顔、ジェスチャー、何度も言っていること、雰囲気、会話でよく使う言葉等)
  - d. 講義 (黒板やオーバーヘッドプロジェクター煮かかされているもの、先生がくり返す言葉、大きい言葉や、ゆっくり言う言葉など)
3. 次に今から見るビデオにタイトルをつけるという設定で、タイトルをつけるためには key word が必要だと言うことを確認。会話の中で Key word (大事な言葉) と他の言葉はどう違って聞こえるかペアで考えさせる。(例. 何度も出てくる言葉、大きい声で言われる言葉、文の最後には余りでないことば、文のはじめか半ばに出てくる名刺など)
4. コマーシャルを音なしで見せる。画像から分かったことをディスカッションする。
5. コマーシャルでどうしても知らなければ分からない語彙や表現をコンテキストを使いながら教える。
6. キーワードだけを拾うように指示して、コマーシャルを見せる。キーワードを拾わせて黒板に書かせる。
7. コマーシャルのタイトルを考えさせる。その他コマーシャルから分かったことなどをディスカッションする。
8. 他のコマーシャルを使って同様の練習。

## F.5. Monitoring & guessing during listening

目的:

聞き取りをしている間に、自分の聞き取りのプロセスをモニターし分かっていること、分かっていることを認知し、正確に推測するストラテジーの導入と練習

教材:

新日鉄の当今主婦事情の横溝さんのエピソード

参考文献: NHK インターナショナル、国際交流基金 日本人のライフスタイル [The way of life in Japan]: 当今主婦事情 [housewives]. 凡人社

ハンドアウト (Context text for the video and comprehension questions)

時間: 30分

手順:

- ドキュメンタリー番組の特徴（ナレーションと会話が口語に出る。ナレーションはですます体など）について話をする。グループでどんなドキュメンタリーを見たことがあるか話し合う。
- 日本の夫婦についてどんなことを知っているかグループでディスカッションをする。
- ハンドアウトの Context を与える文章を読ませ、簡単に Q/A と語彙の確認をした後、家計の足しになる仕事について、ディスカッションをする。  
例: よこみぞさんは家計の足しになることをしたいと思っています。どんなことが家計の足しになるでしょうか。  
注意事項: アルバイトは学生か男性に対して使われ、パートは主婦にしか使われない。
- ビデオを聞く時の注意事項、分からなかった時の推測のしかた、キーワードのさがしかた、メモの取りかたなどについて復習。
- このビデオのトピックをきめるのを目的として、ビデオを二度見せる。グループになって、分かったこと分からなかったことを話し合い、トピックがつけられそうだったらつけさせてみる。また、分かったこと分からなかったことのリストを作らせ、次にビデオを見る時、どの場面に注意しなければならないか、どの情報を聞かなければならないか考えさせる。
- もう一度ビデオを見て、拾えた情報を確認、さらに聞いていく。こういうモニターをいつも自分自身でやると、次に何を聞かなければいけないかが分かるので、聞き取りやすくすることを確認。
- 簡単な内容似ついでの内容についての T/F をする。  
はい いいえ 横溝さんは今育児が大変です。  
はい いいえ 横溝さんは外で仕事をしています。  
はい いいえ 横溝さんのご主人は奥さんが仕事をするのに大賛成しました。  
はい いいえ 横溝さんのご主人は奥さんの家事をてつだうと言いました。

**Handout: Context text for the video and comprehension questions**

よこみぞ  
横溝さんはむすこさんとむすめさんとご主人と東京にすんでいます。むすこさんの名前はゆうきくんです。むすめさんのなまえはくみさんです。ご主人はテニスクラブにつとめてめています。横溝さんは、主婦で、毎日家事の後、近所の商店街で新鮮なものを買います。ご主人の給料でやっていけるので、仕事をしなくてもいいですが、買い物後はすることがありません。ですから、毎日テレビを見ています。でも、家計の足しになることをしたいと思っています。

1. よこみぞ 横溝さんのむすこさんのなまえは何ですか。
2. ご主人の給料で生活できますか。
3. 家事の後何をしますか。
4. よこみぞさんは何をしたいとおもっていますか。どうしてですか。

## F.6. Evaluating, identifying problems, and planning for future occasions

### 目的:

聞き取りが終わった後で自分ができたことできなかったことを振り返り、反省し、将来的にどうすればいいか計画をたてる。

### 教材:

新日鉄の当今主婦事情の横溝さんのエピソードとトランスクリプト  
学生が自分で作成したストラテジーリスト

時間：30分

### 手順:

1. 横溝さんのビデオを何度か見た後、分かったこと、未だに分かっていないことを確認する。
2. 自分のストラテジーリストを見て、まだやっていないことがないか、どうしてきけなかったか問題点を推測する。
3. ビデオをとめながら、聞き取れなかったことを細かく聞いていく。（難しいそうな部分のトランスクリプトを用意しておくこと）
4. 難しかった部分のトランスクリプトをグループで読みながら、何が分からなかったか、どうして分からなかったかディスカッションをする。
5. 同じようなジャンルのものをもっと聞き取れるようになるためにはどうすればいいかグループで相談する。

### 宿題:

相談した内容の一つを宿題として行い、グループで一週間後に成果を発表する。